令和　2年12月11日

令和　2年度学生チャレンジプロジェクト事業
中間報告書

ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名　　水回りの再建　#cleanなphoto spot化

ｸﾞﾙｰﾌﾟ名　　Remakers

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ教職員名　　宇野あずさ、西尾洸毅

代表者名　　深川飛翔（創生デザイン学科１年）

【活動の概要】

本プロジェクトは、元からある場所や物を再び親しみや活気付けすることを目的にcleanなphoto spot化の実現に取り組みます。

そのため今年度は噴水のリメイクにあたり必要な現地調査を始め、実物の噴水を縮小した模型を作成します。アイデアに特化した人材と実働員確保のため活動はデザイン学生と建築学生のコラボで行います。

【活動内容】

2020年9月

＜リメイクデザイン案の構想＞

デザイン学生では、噴水を対象にしたリメイクデザイン案の構想について意見交換を行いました。意見交換の結果、予想していた以上にグループ内でのアイデアが多くありました。

そのため、グループ内でも班を３つに分け、集約した意見をもとに下記のデザイン案候補による模型を計3点作成する予定です。

①噴水そのものをリメイクするデザイン

②噴水周辺をリメイクするデザイン

〈活動計画についてのミーティングの様子〉

2020年10月

＜模型制作の練習＞

建築学生の方は、西尾先生によりスチレンボードなど特殊な材質の素材を扱うに伴い30度カッターなどの道具の扱い方をご指導いただくなど、今年の活動に必要な力を着実につけています。

＜リメイク対象の現地調査＞

現地調査は10月の後半に実際に現地に向かい、噴水の大きさや周辺の草木の状況、噴水がある土地一帯の大きさなど地図や上空写真などを利用して調査いたしました。

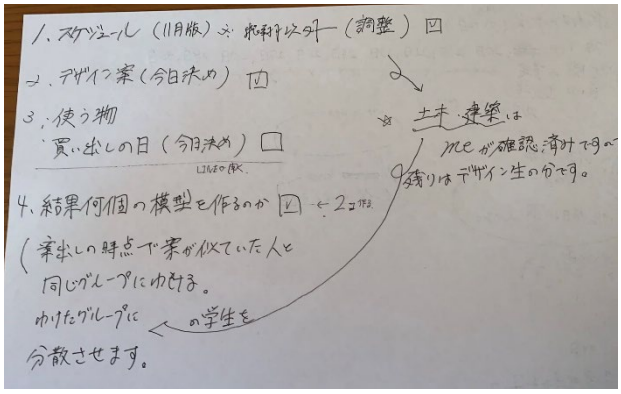
そこで調べたことをベースにリメイク活動を行いたいと思います。

〈噴水内にある岩と、噴水周辺の風景〉

11月＜模型製作における資材準備＞

模型製作に向けて必要な材料をメンバー同士で確認し、発注の手続きをしました。

模型作りは材料など業者様から連絡をいただき、届き次第作成を開始する予定です。



12月＜模型製作開始＞

【活動における課題】

現地調査を行った結果、想定よりも規模が大きく、空間の活かし方がとても重要だと感じたので模型製作に多くの時間をかけることにしました。

【今後の活動】

1月＜模型製作＞

模型の完成は来年の1月末を予定しております。

まだまだ探りながら活動を行なっておりますので、慎重に活動を進めて行こうと思います。

2月＜模型完成品のグループ内発表と講評＞

完成した模型をベースにそれぞれの良い点などをまとめ、来年度に予定している噴水を実際にリメイクする活動に向けて引き継ぎ（行うことのまとめ）をします。